

表題（指導内容を簡潔に述べたもの）

児童生徒：氏名

- ・プロフィール：学年，性別を記入して下さい。診断があれば診断名も書きましょう。
- ・諸検査結果：諸検査の結果を記入して下さい。

指導者

- ・氏名：指導者の氏名を記入して下さい。

個別の指導計画とのつながり

・年間目標

自立活動の個別の指導計画から，この指導を通して達成しようとしている長期目標を抜粋して記入して下さい。

・学期目標

自立活動の個別の指導計画から，この指導を通して達成しようとしている短期目標を抜粋して記入して下さい。

・指導目標

1～2週間程度で達成できる目標を記入して下さい。事例によっては学期目標と同じになる場合もあります。その場合は，「同上」と記入して下さい。

指導目標に関する児童生徒の実態

指導の対象とする，具体的な標的行動を決めるための予備的な観察の結果を書いて下さい。できるだけ簡潔に書きましょう。

指導計画

- ・**般化場面**：指導目標が達成されたときに，教えた行動が指導場面以外の《場所》や《人》，《物》に対しても応用されることを狙いましょう。そして般化を狙う場面を予め想定して指導計画をたてましょう。般化場面が多い標的行動は応用範囲が広く，少しの指導でたくさんの効果がある，要（かなめ）の行動であると考えられます。
- ・**指導場面**：指導場面を記入して下さい。
- ・**標的行動**：指導場面で教える具体的な行動を記入して下さい。
- ・**指導手続き**：指導場面で教えたことが般化場面でも使えるように，教えた手続きを第三者にも分かるように（指導の再現が可能なように）記述して下さい。
- ・**教材教具など**：指導に使う教材や教具について記述してください。写真，イラストなどを載

せると分かりやすいでしょう。

- ・**達成基準**：標的行動がどのくらいできるようになれば指導目標が達成されたとみなすのか，その基準を予め決めておきます。そうすると，効果の上がない手続きを続けてしまったり，逆に，すでに効果を上げて学習が完了した課題を続けてしまったりするのを防ぐことができます。
- ・**中止基準**：(どのくらいすると指導を中止するのかその基準を書きます。この項目は必ずしも書かなければならないものではありません。)
- ・**記録の取り方**：標的行動をどのように記録するのか，指導場面，般化場面ともに決めておきましょう。

指導場面：

般化場面：

指導期間：指導を続ける期間の目安を決めておきましょう。指導期間が過ぎても達成基準に至らなかったら，その原因を分析して，指導計画を見直しましょう。

年 月 日 ~ 年 月 日

結果

ここには記録を視覚化した折れ線グラフを描きましょう。手書きでもかまいません。折れ線グラフは指導を進めながら日々更新して下さい。グラフの横軸は日付にします。グラフの横軸は標的行動の頻度です。縦軸が何を示すのか分かりやすく書いて下さい。グラフに基づいて達成基準に達したかどうか判断して，結果を簡潔にまとめて下さい。表形式の記録用紙は，希望するなら資料として添付してもかまいません。

・目標が達成できたかどうか

「達成できた」あるいは「達成できなかった」などのように，ことばで事実を正確に表記しましょう。

【指導場面】(例) 達成できた。(例) 達成基準には達していないが，指導を中止した。

【般化場面】(例) 達成できなかった。

考察

ここには指導がうまくいったところ，うまくいかなかったところ，感想，次の指導に役立つようなことなどを書いて下さい。《結果》には《事実》を，《考察》には《解釈》を書くのが基本です。指導中に気がついたことなども，ここにまとめて書いて下さい。